

地上デジタル放送を受信するための 簡易なチューナーの無償給付などの 支援について

総務省では、経済的な理由などで地上デジタル放送に移行することが難しい世帯に対し、簡易なチューナー(1台)の無償給付などの支援を実施しています。

①支援の対象

対象は、生活保護世帯や、障がい者非課税世帯などのNHK放送受信料が全額免除になっっている世帯です。

②支援の内容

地上デジタル放送を受信するための「簡易なチューナー(1台)」の無償給付を行います。必要に応じたアンテナ改修など、共同受信施設の改修費用の支援を行います。

③支援の申込受付期間

平成22年12月28日まで(消印有効)
天候不順などの理由で支援が遅れることがあります。

支援を希望される人は受付期限にかかわらず、お早めにお申してください。

④お問合せ先

総務省地デジチューナー支援実施センター
(電話)057・003・3840または、044・969・5425)

▼平日 午前9時～午後9時
▼土日祝日 午前9時～午後6時

平成22年度 秋季農作業標準賃金について

町農業委員会では、平成22年度秋の農作業賃金標準賃金を決定しました。

これを標準基準として話し合いで決定してください。

なお、ほ場整備済み田とし、ほ場条件によつては、双方の協議によつてください。

【問合せ先】町農業委員会事務局
(電話)72・2103

平成22年度秋季農作業標準賃金表

作業名	平成22年賃金	備考
稲刈りおよび一般作業	7,000円～8,000円	1日8時間労働、 <small>まかな</small> 賄いなし
機械	コンバイン	15,000円 10アール当たり(結束ひも含まない)
	バインダー	8,000円 10アール当たり(結束ひも含む)
	ハーベスター	8,000円 10アール当たり
	秋起こし(トラクター)	7,000円 10アール当たり
もみの乾燥(水分量により協議)	(生もみ)750円	乾燥もみ1袋(30kg)当たり
	(ハデかけもみ)300円	
もみすり	300円	1袋(30kg)当たり

日野町図書館おすすめの1冊コーナー

① 読んでみたらなんかなく

内田百閒 ひゃっけん

(ちくま日本文学全集)

「阿房あほうと云うのは、人に思わくなく調子を合わせてそう云うだけの話で、自分で勿論阿房などとは考えていない。」(「特別阿房列車」冒頭部分)

内田百閒は岡山県出身の作家で、主な作品に「冥途」めいど「山高帽子」「サラサートの盤」「特別阿房列車」などがあります。百閒作品の持つ独特の世界観やユーモアあふれる文章もさることながら、作者自身もかなりおもしろい人物です。

冒頭に紹介した「特別阿房列車」という作品は、鉄道好きでもある百閒が「なんにも用事がないけれど、汽車に乗って大阪へ行って来ようと思おう」と言つて、友人の国鉄職員・ヒマラヤ山系を伴つて旅に出るといふ話。

なんにも用事がないといふ、その「いい境涯きやうがい」は行きしか味わえないという理由で、旅費を借りてまで一等列車に乗るこだわり。この作品にはそうした百閒独自の美学、哲学が随所にみられます。

そのほか小説や随筆など全部で36作品が収録されています。この筑摩書房のシリーズは文庫本サイズで、全集によくある重厚感がないので、文学全集の一冊といえど気軽に読んでいただけるはず。夏の読書にぜひ。

(町図書館 山川)



ご存知ですか 「訪問診察」

【訪問診察とは…】

患者様（病気などのため通院が困難な人）の状態に応じた診療計画を立て、定期的に医師が患者様の自宅を訪問し診療を行うことです。

【対象者は…】

- 自宅で療養している人 ●
- 継続して診療を受ける必要があり、病気のために通院が困難な人 ●
- 自宅で高度な医療器具を利用しながら療養する人 ●
- 終末期（ターミナル）医療を自宅で行う人 ●

【診察内容は…】

患者様の状態に応じて医師の診察のほか、検査（血液検査・心電図・X線撮影）や医療処置等を行います。

☆訪問診察の対象となる人で、希望される人は、一度主治医または医療相談員 山口にお問合せください。

問合せ 日野病院（電話 72-0351）



お気軽にご相談ください

まちの介護予防だより 連載 No.21
役場健康福祉課（電話 72 - 0334）
地域包括支援センター（電話 72 - 1852）

カラダとココロの

介護予防

認知症は他人ごとではありません

認知症は、脳に障害が起こることによって知的機能が低下し、日常生活を送ることが難しくなる病気で、誰にとっても身近な病気です。患者への誤解や偏見をなくし、早期発見・対応につなげることが、認知症になったときに、本人や周りの人たちにとってよい結果を生みます。

現在、国内の認知症患者は約170万人にのぼるといわれており、2035年には現在の倍以上の376万人に急増すると推測されています。認知症そのものはゆっくりと進行していきますが、治療や日常生活の仕方で行進を抑えることができます。ところが、認知症を放っておくと寝たきりの原因にもなります。認知症の症状は、周りの人が気づいて初めてわかるものです。最初は、日常生活のちよつとした変化から現れることが多いため、いつも身近にいる人なら発見しやすいといえます。「ちよつと変だな」「以前の様子と違う」といった気になる言動がみられたら、認知症を疑ってみましょう。

見逃さない認知症のサイン

- 今までできていた些細な仕事や作業ができなくなった
 - 慣れている所で道に迷ってしまった
 - 同じことを言ったり聞いたりする
 - 最近の出来事が思い出せない
 - 大切なものをなくしたり、置き忘れたりする
 - 理由もないのに気がふさぐ
 - 人と会ったり外出したりするのをおっくうがる
 - 身なりを気にしなくなる
 - 些細なことでも怒りやすくなる
- 気になる症状があれば、日野地域包括支援センター（電話72・1852）までご相談ください。当センターでは、各種関係機関と連携して相談支援などの対応を行います。お気軽にご相談ください。

5つのポイント

①早期発見

早めに正しい診断を受ける

②健康管理

脳卒中を防ぐ

③運動習慣

体を動かせば脳も若返る

④食生活

バランスのよい食事を心がける

⑤暮らし方

活発な日常生活を送りましょう